

2025 平和行動 in 広島 報告

日程：2025年8月5日（火）～6日（水）

参加：4名（内事務局1名）

1. ピース・ウォークへの参加（広島平和記念公園）

広島平和記念公園の原爆ドームをスタートとし、園内に数ある慰霊碑の中で11箇所めぐりました。連合広島をはじめ応援スタッフの解説を聞きながらめぐることが出来ました。

原爆ドームを間近かで見ることで、平和が一瞬にして奪われた光景がリアルに伝わってきます。核兵器が使われ一瞬にして建物が破壊され、多く人が犠牲になった現実を後世に伝えていくのに重要な建物だと改めて思いました。

動員学徒慰霊塔は、学業より「国のため」と勤労奉仕に動員され、戦禍に倒れた学徒を慰霊する為の塔です。空襲による延焼防止の為、建物疎開作業に従事した6,900名が原爆により亡くなられた事や慰霊碑には全国戦没学徒出身343校が、冥福を祈って刻まれた事など説明を受けました。

原爆の子の像では、禎子さんが2歳で被爆し、12歳で急性白血病と診断され、「鶴を千羽折ると願いがかなう」と信じ、「生きたい」という願いを込めながら薬の包みなどで鶴を折り続けたが、祈りもむなしく9ヶ月の闘病生活の後、亡くなられ、同級生たちが禎子さんだけではなく、原爆の犠牲になった子供たちみんなのために、像を作る運動をはじめ、全国3000校を超える学校から手紙や募金が集まり、建立された像です。



公園内には、様々な慰霊碑があり、それぞれの説明を聞くと胸が苦しくなります。年齢・性別関係なく多くの方が犠牲になった事を改めて認識させられました。



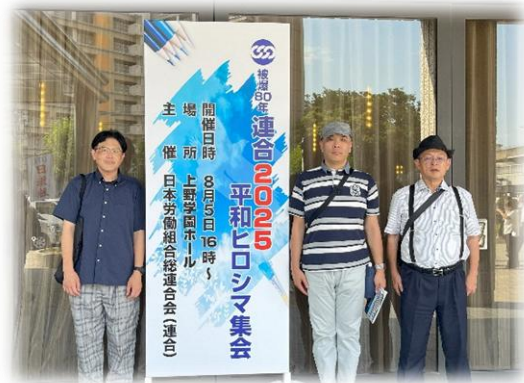
2. 被爆 80 年 連合 2025 平和ヒロシマ集会への参加

(広島上野学園ホール)

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で 核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～
今年、平和への祈りを込め各地協で千羽鶴に向けて折り鶴が作成され、その1つがこの集会場で千羽鶴が献納されました。

被爆体験証言として、当時、15 歳だった切明千枝子さんのお話を聞く事が出来ました。たばこ工場で働いていて被爆、同じ仲間と何とか山側に逃げたが、市内の様子が地獄とかしていた。海側の学校へ戻ると、壊れた学校に先生と生徒がおり、負傷した生徒も帰ってきたが、皮が爪の先にただれ、足も皮をひきづり生き絶え絶えに帰ってくる生徒を壊れた校舎の床に寝かす事しかできなかった事、校庭に穴をあけ、校舎の木材を集め、亡くなった生徒を火葬した事をお聞きしました。なかなか話す事が出来なかったが、後世に伝える為に話してくれた事、など貴重なお話が聞けました。

高校生平和大使の取り組みが聞け、核兵器廃絶と平和な世界の実現を目指して活動する報告が聞けました。



3. 連合 原爆死没者慰霊式への参加 (広島平和記念公園 原爆ドーム前)

平和記念公園の原爆ドーム前に設置された式典に参加しました。

会長をはじめ来賓の方々の献花の後、参加者一人一人が菊の花の献花を行いました。各地方連合会が持ち寄った「各県の水」を慰霊碑に献水を行い、追悼の意を表しました。



- ・感想

戦後・被爆８０年、広島を訪れる事が出来、初めて原爆ドームなど平和記念公園内をガイドしてもらい、多くの方々が犠牲になった事、分かっていたけど一つ一つ話を聞くたびに胸に来るものがありました。

また、被爆体験を語る方が減ってきている中、貴重なお話が聞く事が出来、昔話ではなく、現実起きた惨状だった事を確実に伝えていかないといけないと改めて思いました。お話の中で「広島を歩くときは、下に多くの方が眠っているのだから「上を ごめんね」の気持ちで歩いて欲しい」と話されていました。

多くの犠牲があり、今の平和がある事を決して忘れてはいけない。

後世へ平和を繋げる為の活動を今後もしっかり取り組んでいきたいと思いました。